

# TOKIWA POST

VOL. 36 WINTER

常磐大学  
■大学院 ■国際学部  
■人間科学部 ■国際学部  
■コミュニティ振興学部  
常磐短期大学

常磐大学高等学校  
常磐短期大学 附属幼稚園

[2005.1.31]

発行/学校法人 常磐大学 ■編集/常磐大学広報課 水戸市見和1丁目430-1 電話 029(232)0007 http://www.tokiwa.ac.jp/

◎常磐大学大学院

## 日本で唯一の被害者学を体系化した 被害者学研究科二〇〇五年四月開設

- 被害者政策に関わる人材
- 行政機関で働く人材
- 被害者支援活動を指導する人材

修了後の進路

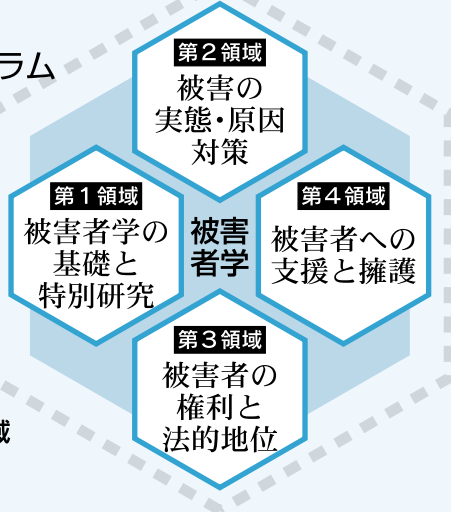
被害者支援の現場

将来、被害者学の分野で研究職に就く人はもちろん、被害者と接する専門職、たとえば、警察官、弁護士、検察官、裁判官、保護観察官、家庭裁判所調査官などの司法関係者のほか、学校教員、医師、看護師、カウンセラー、スクールカウンセラー、臨床心理士、消費者保護関係の職などに従事する人にとって、被害者学の学習は必須である。

被害者の視点から見る  
4領域の学際的カリキュラム

教育課程編成

社会学・法学・心理学・医学・教育学などの諸側面から学際的科目群を網羅した4領域



### 社会現象を「被害者の視点」から見るのが「人間の尊厳」を尊重するのに不可欠

世界的にも例がない  
大学院レベルの教育機関

被害者学研究者や被害者支援活動のエキスパートを育成するため、本学は二〇〇五年四月、大学院「被害者学研究科」を開設する。二年の修士課程となるこの大学院では、社会人の中でも特に被害者と接する実務に従事する現職者を積極的に受け入れるため、必修科目を平日夜間や休日に開講。東京都芝浦のサテライトキャンパスでも受講することができる。このサテライトキャンパスは東京都港区芝浦のキャンパス・イノベーションセンターに設置され、双方向遠隔授業システムなどが導入される。また、留学生が想定されるため、英語による教育と論文指導ができる三人の外国人教授を招き、世界をリードする体制を整える。被害者学を主とした修士レベルの教育機関は世界でも例がなく、世界被害者学会をはじめとするさまざまな分野から、大きな期待が寄せられている。

被害者学研究科には、1. 被害者学の



常磐大学理事長 諸澤 英道

基礎と特別研究、2. 被害者の実態・原因・対策、3. 被害者の権利と法的地位、4. 被害者への支援と擁護」という四つの領域を設け、多角的な研究が進められる。すべての領域に、被害者を取り巻く諸問題を社会学、法学、医学、教育学、心理学などの諸側面から問題解決する学際的な科目群が網羅されており、学生は自分の研究目的や目標に応じながら履修し、「被害者学」を修得することが可能だ。

### 被害者学を学際的に捉え 設立時から研究を進める

被害者学は、さまざまな犯罪や交通事故、自然災害などの被害者を対象に被害者の実態や対策、被害者の権利確立、支援活動などについて多角的に研究する、極めて学際的かつ統合的な学問。本学では設立当初より、このような被害者学を人間科学部の特色のひとつとして捉え、さまざまな取り組みを行ってきた。一九八二年には「国際被害者学シンポジウム」を日本で開催。また、一九九五年には日本初のボランティアベースの被害者支援組織として『水戸被害者援助センター』(現:いばらき被害者支援センター)を立ち上げた。さらに二〇〇三年には、世界各地の被害者学の権威が参加する「常磐大学国際被害者学研究所(TI-VI)」を設立。本研究科は、このTI-VIと一体化することで、国際レベルの研究と教育を実現するものとなる。諸澤英道理事長は「被害者学の研究者や実務能力の高い指導者の育成が急務となっており、大学院を人材育成の拠点としていきたい」と語っている。



●東京芝浦にあるキャンパス・イノベーションセンター。

◎シリーズ36 ソシンロウバイ

### モノトーンの季節を鮮やかに彩る真冬の花。

花がまだ少ないモノトーン  
の季節に、寒さをものともせず鮮やかに咲くソシンロウバイ。春はもう、すぐそこまでやって来ています。

真冬の冷え込んだ空気の中に、かすかに甘い香りを漂わせて咲く可愛らしい花、それがソシンロウバイ(素心蠟梅)です。寒風が吹く冬空の下で、小さな花を枝いっぱい咲かせる風情は名前通り梅そのものの。しかし、実は梅ではなくロウバイ科の植物です。一般的には、蠟細工でつくった梅のように光沢のある花を付けることからこの名前がついたとされていますが、陰暦の十二月にあたる臘月に花を咲かせるので、こう呼ばれるようになったという説もあります。渡来した時期は、江戸時代とも明治時代とも言われる中国原産の落葉低木で、高さは三メートルくらいまで成長します。北海道を除く全国に分布し、十二月から二月にかけて直径二・五センチくらいの小さな黄色い花を下向きに咲かせます。同じ仲間ロウバイ(蠟梅)がありますが、こちらは花の中心部が暗紫色。ソシンロウバイは花全体が透明感のある黄色で、色に変化のないのが特徴です。



常磐の四季

# SHUSHOKU SHIEN BUS TOUR 2005 就職活動を強力に バックアップ!

就職支援バスツアー第1弾で就活START!!



バスに乗り込み会場へ。車内では興味ある企業のブースを少しでも多く回るため、リストのチェックや情報交換をする学生が目立つ。

年々就職活動は厳しさを増しており、今年も例外ではない。その現状に対応するため、本学就職課は「就職支援バスツアー」を執行。トップクラスの激選区の現状を目の当たりにして学生たちは何を感じ、何を思ったのか?

就職に関する講座も開講。試験対策や、メイクアップ教室など、内容は盛りだくさん



若干、好転の兆しが見られるものの就職活動はまだまだまだ厳しいのが現状だ。そこで本学は、今年も恒例となっている「就職支援バスツアー」を十二月六日に実施した。このツアーは、激選区東京で開催される合同セミナーにバスをチャーターして参加する企画。茨城と東京の温度差を実感することが狙いだ。今回向かったのは、東京ビッグサイトで開催された「毎日就職EXPO2005」。ツアーには一三三名もの学生が参加し、就職への意識の高さを感じさせていた。車内では、効率よく企業ブースを回ろうと、ほとんどの学生が参加企業リストをチェック。早朝の出発にもかかわらず、緊張感あふれる雰囲気にもまれていた。会場に到着したのはスタートより早い時間だったが、ゲートの前にはすでに都内の学生たちが長蛇の列をつくっていた。

今回のセミナーは、定期的に早い企画のため、企業の全体像を理解してもらうためのプレゼンテーションが主流しかし、主催者によるより良い就職活動を行うためのセミナーなどが行われ、今後の活動に役立つ内容が豊富に盛り



●早くから学生が集まる。



企業担当者の話を真剣に聞く姿から、就活に対する熱意と意気込みが伝わってくる。

込まれていた。一日で約三万人もの学生が参加したこのセミナーは、学生たちの就職意識を高める絶好の機会となった。バスツアーに参加した国際学部国際協力学科三年の村岡智子さんは「あらためて企業での人間関係の重要性を実感しました。これからは自己分析に力を入れ、社会人としてふさわしいマナーを習得して就活に臨んでいきたいです」と話し、就活に対して意欲的になれたとのこと。また国際学部国際ビジネス学科三年の木村愛さんは「本日お話を聞いた中で、興味を持った企業もありました。今後はさらに情報収集して業種を絞り込み、自分に合った企業を選択していこうと思います」と成果を語り、決意を新たにしていた。

今回のフォーラムの関係者は「現在企業からいちばん求められているのは行動力とコミュニケーション能力。いまからでも、この二点を意識することが大切ですね。また、面接までにマナーと教養を、できるだけ身につけておくことが有利です。忍耐力と体力をつけて、シーンを乗り切ってください」と学生たちにエールを送っていた。

## Profile

後藤 和彦

(ごとう・かずひこ)



東京大学文学部卒。アイオワ大学大学院修士課程修了。日本放送協会総合放送文化研究所放送学部長、経営計画研究開発部長などを務め本学の教授に就任。人間科学部長、人間科学研究科長などを歴任し、本学の発展に寄与する。

坂田 仁

(さかた・じん)



慶應義塾大学法学部法律学科卒。法学博士。家庭裁判所調査官を務め1984年4月に本学人間科学部教授に就任。以来、20年にわたり本学の発展に寄与。専門は犯罪学・刑事司法制度。著書「犯罪者処遇の思想(慶應義塾大学出版会)」

### ■ 本学に名誉教授が誕生

常盤大学名誉教授称号授与  
成十五年に創立二十周年を迎えた本学に名誉教授が誕生し、本館三階の特別会議室において授与式が執り行われた。当日は諸澤英道理事長、大堀哲学長をはじめとする役職教員十数名が参加。厳かな雰囲気の中、「常盤大学および常盤短期大学名誉教授規程」にもつき、元本学教授の二名に、諸澤理事長より名誉教授の称号が授与された。

第一号として授与されたのは、元人間科学部教授の後藤和彦(ごとう・かずひこ)氏(在職期間/一九八三年四月一日~二〇〇一年三月三十一日)、そして第二号として授与されたのは、元人間科学部教授の坂田仁(さかた・じん)氏(在職期間/一九八四年四月一日~二〇〇四年三月三十一日)。お二人は共に常盤大学の創設期に教授に就任され、本学の教育研究の基礎を築いてこられた。

人間科学部の開設を実現した本学は、その後、国際学部、コ



諸澤英道理事長より名誉教授の称号を授与される後藤和彦氏

# 『家の中に展示がある』 博物館学博物館企画展開催!

**昨** 年十二月十三日から十七日まで「ミュージアム実習」の実習生が主体となった企画展が、A棟一階の博物館資料スペースで開催された。当初の目的は、本学にコレクションされている貝、鉱物などを目録カードに記述し、データ管理を実践的に学ぶこと。しかし指導する水嶋英治教授の提案で、それと同時に並行的にディスプレイも行うこととなり、それが企画展に発展した。

メインテーマは「ノスタルジー」。いまは昔になってしまった昭和の家と、鉱物や化石がつけられた『昔』という共通のキーワードに着目して演出が施された。『家の中に展示がある』をキャッチコピーとし、昭和三十年代の平均的家族の団らん風景を再現。三面鏡や化粧箱、また座布団や襖の柄にまで、昭和という時代にこだわった斬新な展示となった。



→昭和30年代の食卓が復元された展示場。丸いちゃぶ台の上に置かれた茶わんの中に、鉱物が展示されている。人形に切り抜いたパネルに解説文を書き込むなど、斬新な演出が施されている。



↑サックスから流れてくる音符に見立てた、貝の展示パネル。リズムカルな動きが、見る人の目をとめるアイキャッチャーとして機能している。



↑宝石類の展示は、海賊船の中という設定で行われた。宝物の場所を示した地図や宝石箱などを配置し、子供でも充分に楽しめる。

**今** 回の企画展は、コンセプトの立案から実際の会場づくりまで、学生が主体となって行われた。ノギリやスプレーペンキをはじめ、手にする学生も多く、ディスプレイの骨組みをつくるのも大変な作業。また、限られた予算の中で完成させるための創意工夫は各所に見られた。十月の下旬から取りかかった作業は、開催初日の直前まで続いた。最後まで見守った水嶋教授は「自分のアイデアをプロデュースする力がついたのではないかと思います。また、いくつかの問題点がありました。やればできるということを実感できたのではないのでしょうか」と語っていた。

博物館活動の中には、目録づくりや展示、広報などさまざまな作業がある。今回の企画展は、こつとした一連の流れを実践できる、実り多い実習になったことは間違いない。

## 資格取得を支援する 生涯学習センター

興味が、スキルアップにつながる…。  
生涯学習センターは、学ぶ心を満たしてくれる場所だ。  
今年度の講座を受講し、みごと資格を取得した  
本学生三人にインタビューした!



### ◎生涯学習センター

多様化する地域社会の学習ニーズに応えるため、幅広い世代に学ぶ機会を提供している。本学は現在、水戸市内に3カ所（見和キャンパス、常盤大学高校、水戸駅前）のセンターを開校。講座は資格取得に向けてのものから一般教養までと様々で、分野も多岐にわたる。今後も、さらなる地域貢献が期待されている。

### 秘書検定は社会を知る第一歩です!



石川 佳奈江さん  
コミュニティ振興学部  
ヒューマンサービス学科

**来** 年度からの本格的な就職活動にあらかじめ身につけたい、と考えていました。そうすれば、自分の可能性が少しでも広がるんじゃないかって。その頃、周囲で秘書検定が話題になっていて、私も興味がありました。

生涯学習センターは三方所あります。が、秘書検定対策講座を開催するのは水戸駅北口、川又書店六階にある水戸駅前校です。バスで通学している私は常に立ち寄っている場所。交通の便が

### ●秘書検定対策講座 受講

良く、利用しやすかったこともあり、受講しようと思ったんです。

受講するまで、私がイメージとして抱いていた秘書検定の内容は、電話対応やスケジューリングなどでした。しかし実際はかなり豊富で、言葉遣いや名刺整理のコツ、宛名書きの方法も教えていただきました。内容は濃くても分かりやすかったので、苦になることはまったくありませんでした。自分ひとりで勉強するのが苦手な私は、生涯学習センターの講座でモチベーションを向上させることができました。

学校で学ぶことが、社会で通用することには、少なからずギャップがあると思います。私はそのギャップを、早いうちに味わうことができ、自分自身大きく成長できた実感しています。

### ビジネス能力検定三級/パソコン検定三級 取得 取得した資格が、未来につながるはず。



栗崎 美咲さん  
短期大学  
キャリア教養学科

### ●ビジネス能力検定対策講座他 受講

**入** 学当時に私が掲げた目標は、将来につながる資格取得。短大での二年間は長いようで、あっという間ですよね。その間に何ももしないで、履歴書の資格記入欄が真っ白なのは、何だかもったいない気がしたんです。資格を持っていけば自信につながるし、自己アピールにもなりますよね。

数多くある講座の中で、私が受講したのは、パソコン検定対策講座と、ビジネス能力検定対策講座です。ビジネス能力検定というのは、あまり聞き慣れないかも知れませんが、一般の社会人として身に付けておくべき知識とマナーの習得を目的としています。私が在籍するキャリア教養学科ビジネス系コースにおいても授業で活用でき、持っているが大変有利な資格です。

現在、大学で勉強しているのは「ビジネス実務演習」。社内文書の作成です。私は資格取得対策講座で、ビジネス用語の一般的な使い方を教えていただきましたので、人よりも早く理解できました。学んだ知識を授業ですぐに生かせ、本当に助かっています。

生涯学習センターで講座を受け、取得した資格は、将来の自分に生きてくると思っています。そして残された時間も向上心を持って、より有意義なキャンパスライフを実現していきたいです。

### マイクソフトオフィススペシャリストほか 取得 興味が湧いたら、挑戦してみてください!



飛田 奏さん  
コミュニティ振興学部  
ヒューマンサービス学科

### ●マイクソフトオフィススペシャリスト検定対策講座他 受講

**パ** ソンコンに関する資格取得の講座を生涯学習センターで受講している。と聞いたのは、入学してまもなくのことです。私にとって、パソコンは昔から興味があったもののひとつ。何らかの資格を取ろうと考えていました。それなら、夏季休暇が利用できますよね。時間があるのも、今しかないと思いついて、マイクソフトオフィススペシャリスト検定対策講座エクスセル一般など、全部で三つの講座を受講しました。自宅で勉強して、資格を取得する方

もいるようですが、どうしても行き詰まってしまうこともあると思います。生涯学習センターでは、疑問をその場で解決できたので、試験勉強がとてもスムーズに進みました。個人的な指導が行き届き、細かい部分までカバーしてくれるのが最大の魅力でした。

また、パソコン関係の講座は幅広い年代に人気があるため、学生だけではなく、社会の方も一緒に受講していました。様々な人と関わる機会があり、人間関係を広げることができました。

取得後は自信と、専門的知識が身につく、パソコンに関する疑問は「私にまかせて!」という感じです。社会に出たら、情報処理の面で活躍したいです。皆さんも興味が湧いたことには、どんどん挑戦してみてください。

# 2004 vivid 心、ビビっと! ときわ祭。



●ときわ祭大学委員長を務めた、国際学部国際ビジネス学科の井坂僚さん(写真右)と、短期大学委員長を務めた生活科学科食物栄養専攻の松本裕子さん(写真左)。

- ① キャンパス内は、早い時間から大盛況。
- ② 本物そっくりのドラえもんに感激!
- ③ 黒沢年雄さん。「日々を楽しむことが大切」
- ④ 「おいしいよ! ちょっとよって行ってね」



人は新鮮なものに触れたい、何かに感動したとき心がビビッと(vivid)する。最近、あなたの心はビビッとしただろうか。活気あふれるキャンパスが、そんな気持ちを持ってもらいたい。

第二十二回ときわ祭が、二〇〇四年十月三十日、三十一日に開催された。今回のテーマは「心、ビビッと(vivid)ときわ祭」。活気あふれた学園祭の雰囲気を感じてもらいたい、との願いが込められている。

初日は多少小雨がばらついたものの、二日目は天気も回復。大堀哲学長が「情報化と国際化を推進し、交換留学生制度をスタートさせた本学の教育環境や研究活動を、ご理解いただければ嬉しく思います」と挨拶文で語っているように、キャンパスに太陽の光が差し込むなか、新たな時代を築く本学らしい多彩なイベントが行われ、とても刺激的な二日間となった。

特別講演会の講師としてお招きしたのは、ドラマにバラエティーに大活躍の黒沢年雄さん。「人生プラス思考で」というテーマで、横浜で生まれ育った

「来場していただく方に楽しんでからおうと、毎日遅くまで準備に励んできました。この二日間心ビビッと響くものを何か、見つけてもらえれば幸いです」という大学委員長の井坂僚さんのコメント通り、誰もが心躍る、素晴らしい学園祭となった。来年度はどう展開されるのか、今から楽しみだ。

自らの幼少期からの人生経験を踏まえ、毎日を楽しみながら生きることの大切さを語っていただいた。黒沢さんの心にもった一言ひとことに、たくさんの方が聞き入っていた。

また、「ドラえもんショー」は幅広い年代が楽しめる企画。観覧席からは歓声が上がリ、その声に誘われて家族連れだけではなく、学生や地域の人々も続々と集まっていた。

そして、ゼミによる研究発表も力作ぞろい。屋内展示の中には児童が書いた絵を展示した、心暖まるコーナーもあった。

## 音楽を通して交流を深める 吹奏楽団OB「同奏会」開催



TOKIWA  
おんぶの会

二〇〇四年十二月二十八日、TOKIWAおんぶの会(常磐大学・常磐短期大学の吹奏楽団OB会)の創立二十周年を記念して、常磐大学吹奏楽団「同奏会」と題して、ひたちなか文化会館大ホールにて演奏会が開催された。当日は、小さな子供から年配の方々まで、約三〇〇人の観客が来場し、大いに賑わった。

この演奏会のために、メンバーは約三年前から準備、練習を開始。仕事や家庭の事情、遠方からの参加事情を考え、夜間練習や託児施設の設置などの工夫を凝らした結果、OB総勢約三〇〇名中、初代メンバーから、この卒業生のヤング・フレッシュな者まで八十名もの参加を実現した。子持ちのママさんや埼玉から毎

週練習に参加してくれたメンバー。また、新潟の地震にも負けずに参加したメンバーなど、吹奏楽団にかけるとは思えばそれぞれに熱い。ひさびさに集まった面々は、懐かしい常磐サウンドを奏で、学生時代の思い出話で盛り上がり、この同窓会ならぬ「同奏会」を大いに楽しんでいた。

鈴木桂一会長(大学四期卒)は、「これからも、三十年、五十年、一〇〇周年とOB会が続くことを願う、そしてまた演奏会ができた」と、OB会に対する思いを語った。音楽には、人の心をひとつにする不思議な魅力がある。その音楽で結ばれた卒業生たちの交流に、これからも注目したい。



↑高校生からは、意欲的な質問が次々と飛び出す。

もっと知ろう!  
トキワについて

■第三回オープンキャンパス開催  
在校生たちに常磐大学・常磐短期大学を体験してもらった「第三回オープンキャンパス(イベント型)」が平成十六年十月九日に開催された。当日は台風の影響があったにもかかわらず、約三〇〇名の高校生が来場。数カ月後に迫った入試を意識し、個別相談や入試説明会などで、より具体的な情報を収集する姿が目立った。

栃木県宇都宮市から参加した女子高生は「生活科学科の模擬授業で行った染色が楽しく、とても興味深かったです。他の講義も受けてみたいと思いました」と、短期大学の実践的な講義に、高い関心を示していた。

### Campus News

#### 法人名称変更 “学校法人常磐大学”誕生。

本学は法人名を「学校法人常磐大学」に変更しました。これは、21世紀の理想の大学を求めて開設した常磐大学を学校法人運営の中核とし、建学の精神を礎に、教育機関に課せられた社会的責務を果たすという決意の表れです。創立20周年を経た、学校法人常磐大学を、どうぞ宜しくお願い致します。

新法人名●学校法人常磐大学  
(旧法人名:学校法人常磐学園)  
変更年月日●2005年1月1日

# 学生満足度の高い環境を整えるために

■学生相談室・新部屋棟が完成

**快** 適な学生生活を送るためには、充実した学内施設が欠かせない。そこで本学は、キャンパスライフを支援する二つの施設を新たに設置した。

そのひとつが「学生相談室」。学生相談室とは、学生たちが抱えるさまざまな悩みに対し、カウンセラーが適切なアドバイスをを行うカウンセリングルームのこと。学生生活のこと、家庭環境のこと、友人との人間関係、心身の不安など、どんな相談も受け付けている。設置された場所はE棟の二階、ソファア

↓シンプルだが落ち着いた雰囲気学生相談室



とテーブルが置かれたシンプルな造りだが、曇りガラスを使用するなどプライバシーの保護は万全に行われる。E棟一階の保健センターで予約をしてから利用するので、他の学生と顔をあわせる心配もない。これまでも学生からの相談は受け付けていたが、特定の相談室がなかったことが難点であった。また、カウンセリ



↑R棟の隣に新築された2階建ての部室棟

ング担当者は、長井進教授をはじめとする本学の有資格教授六名であったため、授業時間以外という時間的な制約があったことも事実。そこで二〇〇五年一月より、相談に応じるカウンセラーを増員。毎週木曜日の午前十時から午後二時の間は、昼休みなしで受け付けているので、突然の面談希望者への対応も改善されてきている。

そして、もうひとつ新しく完成した施設が「部室棟」だ。これまではR棟の隣、M棟の南隣、第一駐車場の中と分散していたが、それをR棟の隣一カ所に統一。二階建てで、ひと部室あたりの面積もこれまでより広くなっている。また、体育会と文化連合が同じ建物で活動することにより、連絡もしやすく連帯感がでるといふ効果も期待できる。使用することができるのは同好会以上の団体となっている。今後、昇格するサークルの受け入れも可能だ。学生たちがより満足できる学内環境を整えるため、本学はこれからもきめ細かい対応を行っていく考えだ。

明るい兆しが見えるというものの、まだまだ厳しい就職戦線。しかし自分を信じ努力する姿勢があれば、必ず結果は出てくる。自分の夢に向かって、着実に羽ばたく“きらりびと”を紹介しよう。

## きらりびと KIRARIBITO



コミュニティ振興学部/コミュニティ文化学科  
**酒井 彰子**  
(2004年3月卒業)  
★社団法人茨城原子力協議会 原子力科学館  
管理課 主事 学芸員

### 博物館をもっと身近な場所に。

**卒** 業してしばらくはアルバイトをして過ごしていましたが、今年の夏、大学の就職課から、学芸員の求人があるという連絡を受け、就職が決まりました。現在は管理課の仕事と、学芸員の仕事の両方をこなしています。管理課の仕事は、さまざまな契約上の書類を作ったり、関係者との調整を行ったり、常に全体に目を配る必要があります。大変ですが、とてもやりがいがあります。学芸員としての仕事はまだそれほど多くはありませんが、勤めはじめてから、大学で学んだことをできる



人間科学部/コミュニケーション学科  
**國井 陽子**  
★Embry Riddle Aeronautical Univ.  
航空科学部 セーフティ科 修士課程 在学中

### 夢の実現に向けてアメリカへ!!

**最** 初は教員になりたくて、コミュニケーション学科に入りました。そうした中で転機となったのが、「異文化間コミュニケーション」の授業でした。「英語を学べば世界の人々とひとつになれるんだ」と感じて、英語を学ぶために、留学したいと思うようになりました。でも、ただの語学留学よりは、できれば自分が好きなことを英語で勉強してみたいと思い、飛行機が好きだった私は、管制官になるための勉強ができる大学を探しました。また、より専門的な勉強がしたかったので、



人間科学部/人間関係学科教育専攻4年  
**鈴木 絵美**  
★小学校教員(採用内定)

### 生徒の心がわかる教師をめざして!!

**先** 生になるのは、小さい頃からの夢でした。最初は漠然と先生になりたいと考えていましたが、家庭教師のアルバイトで中学生を教えているうちに、教えるなら小学生がいいと思うようになりました。しかし、常盤大学では小学校の教員免許は取ることができませんが、所属している同じ森山賢一ゼミの先輩から小学校の教員資格認定試験というのがあるということを知り、大学三年時に「ダメモト」というつもりで受けてみたところ、なんと合格!

だけ生かしたいと思うようになり、教科書を引っ張り出して勉強し直したりしています。今は仕事が忙しいので手一杯ですが、時間に余裕がきたら、国内や海外の博物館を見てみたいし、また、そうした視点を常に忘れずにいたいですね。これからの目標としては、博物館は数層の高い場所というイメージをなくしていきたい。誰もが気軽に立ち寄って、いろんなことが学べるような場所を目指していきたいと思っています。

大学よりも大学院に入ることに決めました。最初は大学附属の語学学校から学部へと進み、1セメスターを終えて大学院の試験に挑戦。昨年の秋より念願だった院へと進むことができました。来年はアメリカの航空会社でインターンとして働く予定になっており、将来は、セーフティという、空の安全を守る。仕事を通して、キャリアを積み重ねていこうと考えています。

教員採用試験にも無事合格し、来年から晴れて念願だった教職に就くことが決まりました。所属していた弓道部は、教職の勉強に集中するため二年で引退。人数が少なく大変な時期でしたが、わがままを聞いてくれた先輩や仲間にはとても感謝しています。教育実習の時、ある生徒に「生徒の気持ちがわかる先生になってください」と言われたのが今も心に響いていて、そんな先生にぜひなりたいたいと思っています。



# 国境を超えて展開する 国際ビジネスを探る

## グローバル化で変わる 企業経営の方向性

第二次世界大戦後の日本は、工業製品を海外に輸出することで経済成長を遂げた。しかし、経済のグローバル化が進む中、国内で生産するより、海外で生産する方が人件費も安く、収益が上がるようになっていく。従来のモノの輸出から現地生産へと経営のあり方が変わってきているのだ。

国際学部・灘山龍輔 教授に聞く

国際ビジネス

企業のグローバル化が進み、より複雑化する国際ビジネス。現在の社会を生き抜くためには、その最前線を理解し明日に向けたシナリオをつくる能力が必要だ。そこで『国際ビジネス論演習』を担当する灘山先生に、刻々と変化する国際経済の方向性と、その読み解き方を聞いた。

「例えば、ここに一台のパソコンがあるとして、これを分解すると、いくつかのパーツに分けることができます。そして、その中でも半導体や液晶パネル、基本ソフトウェアのように高度な技術を要するものは、日本国内やアメリカなどで生産され、コンデンサ、ポディーカパーなど中程度のものは、台湾やシンガポール、中国などで生産されていることがわかります。これを『国際分業』といい、いまでは珍しいことではなくてきています」

「国際ビジネス論演習」を担当する灘山龍輔先生は、現在の国際経済はインターナショナル(単一国家間の取引)からトランスナショナル(国家主権を超えた企業等の経営・取引行動)へと進展していると語る。



なだやま りゆうすけ  
東京大学経済学部卒業。日本銀行入行。外国局、調査局等を経て、昭和六十年十一月より調査役。平成十二年十月金融研究所調査役に退職。金融学会、日本文藝家協会会員。平成十五年四月より現職。

「『ヒト』のマーケットなら、安い資材を仕入れて生産するのが『モノ』のマーケット。そして、今後最も注目されるのが『カネ』のマーケットだ。現在の国際経済では、『モノ』の取引高より、『カネ』の取引高のウエイトが大きくなっています。外国為替レートの決定要因も、『モノ』の流れの貿易収支から、『カネ』の流れの資本収支に移ってきているのが現状です」

「『ヒト』のマーケットなら、安い資材を仕入れて生産するのが『モノ』のマーケット。そして、今後最も注目されるのが『カネ』のマーケットだ。現在の国際経済では、『モノ』の取引高より、『カネ』の取引高のウエイトが大きくなっています。外国為替レートの決定要因も、『モノ』の流れの貿易収支から、『カネ』の流れの資本収支に移ってきているのが現状です」

「『ヒト』のマーケットなら、安い資材を仕入れて生産するのが『モノ』のマーケット。そして、今後最も注目されるのが『カネ』のマーケットだ。現在の国際経済では、『モノ』の取引高より、『カネ』の取引高のウエイトが大きくなっています。外国為替レートの決定要因も、『モノ』の流れの貿易収支から、『カネ』の流れの資本収支に移ってきているのが現状です」

「『ヒト』のマーケットなら、安い資材を仕入れて生産するのが『モノ』のマーケット。そして、今後最も注目されるのが『カネ』のマーケットだ。現在の国際経済では、『モノ』の取引高より、『カネ』の取引高のウエイトが大きくなっています。外国為替レートの決定要因も、『モノ』の流れの貿易収支から、『カネ』の流れの資本収支に移ってきているのが現状です」

編 集 後 記  
スマトラ沖地震による津波の被害が、連日報道されている。インドネシア、スリランカをはじめとする十二カ国に被害が及び、死者十五万人を超えるという世界最大規模の大惨事となってしまう。我が国でも、昨年十月二十三日に新潟県で中越地震が発生。大雪のなか、未だに多くの人たちが仮設住宅で避難



●谷口氏の講演に聴き入る出席者たち  
講演終了後には、学生たちによる「NTT東日本フレッツ(ブロードバンド)の販売促進について」のプレゼンテーションも実施され、本学の実学に対する取り組みをアピールするフォーラムとなった。

消費トレンドを的確に捉え  
市場構造の変化をチャンスに変える。  
成十六年十月十三日、水戸京成ホテルで、『第八回常磐フォーラム』が開催された。今回お集まりいただいたのは、企業・公務・福祉関係など八十二団体の関係者一〇六名。地域と大学の相互理解を促進させ、結び付きを深める絶好の機会となった。  
毎年恒例となっている講演会は、株式会社ジャパンライフデザインシステム代表取締役社長の谷口正和氏による『消費のトレンドとこれからの商品』。谷口氏は生命生活、人生の在り方を問う『ライフデザイン』を企業理念そのものとし、地球と個人の時代を見据えて常に次なる価値観のニューモデルを提示し続けている。その活動はコンセプト・プロデュースから経営コンサルティング、企業戦略立案、地域活性化計画まで幅広い分野に及んでいる。  
講演の内容は「物から心へ」という新しい充足感を要請する消費者に、新しい付加価値を提供することができるのか。それを「高齢

\*TOPOSに対する御意見は kouhou@tokiwa.ac.jp. までお寄せ下さい。  
\*古紙の利用・70%の再生紙を使用しています。